

2025年4月21日

各 位

会 社 名 株式会社トヨコー
代表者名 代表取締役 CEO 豊澤 一晃
(コード：341A、東証グロース市場)
問合せ先 取締役 CFO 白井 元
(TEL. 0545-53-1045)

国土交通省の令和7年度準推奨技術に「CoolLaser 工法」が選定

老朽化した橋梁等のインフラメンテナンスを行う株式会社トヨコー（本社：静岡県富士市、代表：豊澤一晃、以下当社）は、当社が開発した「CoolLaser 工法」が、公共工事等における優れた新技術としてその活用を促進する事を目的に、国土交通省より令和7年度の「準推奨技術」に選定されました。

国土交通省が運用する「NETIS（新技術情報提供システム）」において準推奨技術として登録されることで、以下のようなメリットがあります。

■ 評価点の優遇措置

公共工事の入札時に、準推奨技術である CoolLaser 工法が採用される事で、応札する工事会社の評価点の加点要素となります。これにより、当該工事会社の工事受注競争力が大きく高まるため、CoolLaser 工法を積極的に採用するインセンティブとなります。

■ NETIS 掲載期間の延長

通常、NETIS 登録技術の掲載期間は10年間ですが、準推奨技術に選定される事で、掲載期間は15年間（2037年まで）に延長されます。

当社の CoolLaser 工法は、国土交通省所管の国立研究開発法人土木研究所（以下、土木研究所）より、国土強靱化や戦略的な維持管理等に資するインフラメンテナンスの新技術として、公共事業等での活用を推進するための委託研究制度「IRAIM（革新的社会資本整備研究開発推進事業）」に2019年に採択されました。

約4年間の共同研究を経て、2024年2月に「鋼構造物の高耐久化を実現し、幅広く活用されることで、鋼構造物の長寿命化や維持管理費の削減に寄与する効果」が確認されたとして土木研究所より成果が発表され、2024年9月より CoolLaser 初の市販モデルである世界最高峰 5.4kW の高出力サビ取りレーザー装置「CoolLaser® G19-6000 シリーズ」の納品をスタートしています。

当社は今後も国土交通省や土木研究所とも連携し、我が国の老朽化した橋梁（道路・鉄道）を始めとした社会インフラ構造物のメンテナンスに幅広く貢献出来るよう、CoolLaser の普及を進めて参ります。

- ・国土交通省公表（2025/4/18）の「準推奨技術」に関する詳細は[こちら](#)
- ・国立研究開発法人土木研究所の「IRAIM（革新的社会資本整備研究開発推進事業）」に関する詳細は[こちら](#)

■ 本件に関するお問い合わせ先（株式会社トヨコー 広報 IR 担当）

E-Mail: pr@toyokoh.com TEL: 0545-53-1045

以 上